



町内を練り歩いた後、行政局前で記念撮影

征夷大將軍 坂上田村麻呂公と北東の英雄 大多鬼丸が復活

時を超えたロマン

平安時代の武将、坂上田村麻呂没千二百年を記念するイベントが6月17日、田村歴史観光協議会の主催で行われました。

当日は、早朝から大雨で開催が心配されましたが、午前10時過ぎには雨も上がり、滝根行政局の駐車場で出陣式が行われました。約40人が、甲ちゅう武者や文官、女官にふんし、坂上田村麻呂軍と大多鬼丸軍に分かれ、一堂に会しました。

式では、あぶくま太鼓「紅組」が華麗な演奏を響かせ、出陣を盛り上げました。ほら貝を吹く2人を先導に、甚句を歌いながら行列が出発。沿道には大勢の見物客が詰めかけました。神俣駅前では、和太鼓の演奏後、坂上田村麻呂と大多鬼丸が和睦し、刀を抜いた武者など全員で勝どきを上げました。

あたかも平安時代にタイムスリップしたかのような時代行列は、約1時間をかけ町中心部を練り歩きました。

午後は、古戦場となった仙台平で鬼五郎幡五郎太鼓披露の後、建立された記念碑の除幕式が行われました。



仙台平で行われた古戦場の地記念碑除幕式



除幕式のアトラクション鬼五郎幡五郎太鼓



沿道には時代行列を一目見ようと大勢の見物客が集まりました

に思いをはせる



坂上田村麻呂と大多鬼丸が和睦



紅組の迫力のパフォーマンス



勇壮なほら貝の音が鳴り響く



神俣駅前が平安時代に

いざや決戦 古戦場
天地に轟く 闘いの声
滝根の山の頂きに
駒の嘶き 急を知る
君も負けるな 我も勝つ
いかに 苦しみ戦いも
必ず民を守るため
滝根の山を守るため

甚句を歌いながら行進